

コンセント付き家具製品お取扱いに関するご注意とお願い

コンセント付き家具はその接続の仕方や、コンセント部から伸びる電源コードの使い方によっては、発熱や発火など火災につながる現象が起きる場合があります。以下をご参照の上、安全に製品をお使いいただきますようお願いいたします。

「電気コード」は正しく壁面コンセントへ設置してください

コンセント付き家具製品のコンセント部裏から伸びる電気コードは、張り詰めた状態でご使用にならないようご注意の上、設置してください。コンセント裏で鋭角にコードが折れたままの状態や、壁と家具の間にコードが挟まれた状態、コードがねじれたままでのご使用では、その部分に負荷がかかり、発熱やショートする可能性があります。また、製品によってはコンセントを2箇所備えたものがございますが、それぞれ電源コードは別の壁面コンセント（※）へ繋ぐようお願いいたします。

※一般的に壁面コンセントの容量は差込口が2口あっても、合計で1500ワットになっています。



このように、鋭角に折れ曲がった状態でのご使用は大変危険です。

家電製品のご使用に際しては「容量オーバー」のままにご使用にならないでください

コンセントには最大消費電力が表記してあります。その容量を超える家電製品の使用は危険です。容量を超える家電製品（主に複数の家電製品同時使用があります）の使用によりコンセント部が発熱し発火する場合があります。容量内での家電製品の使用をお願いします。



「合計〇〇〇〇ワットまで使えます」と印字があります。

「トラッキング現象」を起こさないために

家電製品の電源プラグをコンセントに差し込んだままの状態が長く続くと、電源プラグとコンセントのすき間にたまった「ほこり」が湿気を吸って、プラグ極間で火花が飛ぶ現象が繰り返され、発熱し発火に至る場合があります。これを「トラッキング現象」と呼んでいます。コンセント付き家具製品のコンセントに限らず、家電製品全般的にトラッキング現象を避けるために、以下のようにご注意ください。

- ① 家電製品を常時通電させたままにせず、ご使用時にプラグを差し込んでください。また、お手入れには必ず乾いた布などをご使用になり、定期的にはほこりを拭き取るようにしてください。
- ② コンセントや電源プラグ、コードが熱くなっている時には、速やかに使用を中止してください。
- ③ 旅行などで長期に家を空ける際には、必ず家電製品のプラグをコンセントから抜いてください。

その他、ご使用に際して心がけていただきたいこと

長期間使用している電気製品のコードについては定期的に、折れ曲がり、ねじれ、傷がないかなどを点検してください。電気製品の使用中に電気コードの一部が熱くなったり、コードが触れたり曲げたりすると電が入ったり切れたりする時は、使用を中止してください。

上記の注意事項にご留意いただき、ご購入された商品を末長くご使用くださいますようお願いいたします。

その他ご不明の点がございましたら、弊社ハートコールセンターまでお問合せください。

【 ディノス ハートコールセンター お問い合わせ窓口 】
フリーダイヤル 0120-111-555（受付時間：午前9時～午後9時）
メールアドレス desk@dinos.co.jp